

台風 10 号の被害状況及び復旧・復興に向けた取組状況

課題	現在の対応状況	今後の対応方向																																																																																																																																					
1 被災者の生活再建支援	<p>○ 住家被害の状況（平成 29 年 8 月 1 日現在）</p> <p style="text-align: right;">（単位：世帯）</p> <table><tr><th></th><th>全壊</th><th>大規模半壊</th><th>半壊</th><th>床上浸水</th><th>床下浸水</th><th>計</th></tr><tr><td>葛巻町</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>14</td><td>16</td></tr><tr><td>遠野市</td><td></td><td></td><td>8</td><td></td><td>60</td><td>68</td></tr><tr><td>陸前高田市</td><td></td><td>1</td><td></td><td></td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>住田町</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr><tr><td>釜石市</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>25</td><td>26</td></tr><tr><td>大槌町</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>14</td><td>14</td></tr><tr><td>宮古市</td><td>63</td><td>194</td><td>883</td><td>103</td><td>562</td><td>1,805</td></tr><tr><td>山田町</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>岩泉町</td><td>399</td><td>182</td><td>167</td><td></td><td>13</td><td>761</td></tr><tr><td>田野畑村</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>11</td><td>12</td></tr><tr><td>久慈市</td><td>12</td><td>148</td><td>824</td><td>8</td><td>621</td><td>1,613</td></tr><tr><td>普代村</td><td>1</td><td>2</td><td>19</td><td></td><td>51</td><td>73</td></tr><tr><td>洋野町</td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>28</td><td>29</td></tr><tr><td>野田村</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td></td><td>9</td><td>13</td></tr><tr><td>軽米町</td><td>1</td><td>1</td><td>4</td><td></td><td>41</td><td>47</td></tr><tr><td>九戸村</td><td></td><td></td><td></td><td>2</td><td>10</td><td>12</td></tr><tr><td>一戸町</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>計</td><td>478</td><td>529</td><td>1,906</td><td>121</td><td>1,470</td><td>4,504</td></tr></table> <p>○ 被災者生活再建支援法が本県全市町村に適用され、全壊世帯及び大規模半壊世帯に対し、最大 300 万円の支援金が支給されることとなり、昨年 11 月中旬から順次支給している。 （8 月 1 日現在決定件数： 1,408 件）</p> <p>○ 県では、同法適用外の世帯（半壊、床上浸水）に対し支援金を支給する市町村への補助制度を創設し、昨年 9 月から順次支給している。 【被災者生活再建支援金支給補助 H29 当初予算 5,100 千円】 （8 月 1 日現在支給決定件数：半壊 1,500 件、床上浸水 44 件）</p> <p>○ 国に対し、支援金の増額及び同法適用外世帯への支給範囲の拡大について要望を実施した。</p>		全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水	計	葛巻町				2	14	16	遠野市			8		60	68	陸前高田市		1			2	3	住田町				2	3	5	釜石市				1	25	26	大槌町					14	14	宮古市	63	194	883	103	562	1,805	山田町				1	1	2	岩泉町	399	182	167		13	761	田野畑村				1	11	12	久慈市	12	148	824	8	621	1,613	普代村	1	2	19		51	73	洋野町				1	28	29	野田村	2	1	1		9	13	軽米町	1	1	4		41	47	九戸村				2	10	12	一戸町					5	5	計	478	529	1,906	121	1,470	4,504	<p>○ 各市町村と連携し、支援金の早期支給に引き続き努めている。</p>
	全壊	大規模半壊	半壊	床上浸水	床下浸水	計																																																																																																																																	
葛巻町				2	14	16																																																																																																																																	
遠野市			8		60	68																																																																																																																																	
陸前高田市		1			2	3																																																																																																																																	
住田町				2	3	5																																																																																																																																	
釜石市				1	25	26																																																																																																																																	
大槌町					14	14																																																																																																																																	
宮古市	63	194	883	103	562	1,805																																																																																																																																	
山田町				1	1	2																																																																																																																																	
岩泉町	399	182	167		13	761																																																																																																																																	
田野畑村				1	11	12																																																																																																																																	
久慈市	12	148	824	8	621	1,613																																																																																																																																	
普代村	1	2	19		51	73																																																																																																																																	
洋野町				1	28	29																																																																																																																																	
野田村	2	1	1		9	13																																																																																																																																	
軽米町	1	1	4		41	47																																																																																																																																	
九戸村				2	10	12																																																																																																																																	
一戸町					5	5																																																																																																																																	
計	478	529	1,906	121	1,470	4,504																																																																																																																																	

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
2 応急仮設住宅の早期整備	<p>○ 応急仮設住宅について、県内5市町村で270戸（新規建築171戸、既存仮設68戸、みなし仮設31戸）を整備した。 【災害救助費 H29 当初予算 57,908 千円】 【仮設住宅共益費支援事業費 H29 当初予算 3,551 千円】</p> <p>○ 岩手県社会福祉協議会が支援窓口となり、家電セット（テレビ、こたつ等）を応急仮設住宅への入居に合わせて支給した。</p>	○ 応急仮設住宅の適切な維持管理に努める。

○ 応急仮設住宅の整備戸数及び入居戸数（H29.8.1 現在）

市町村	地区	団地名	新規 建築	既存 仮設	みなし 仮設	計	備考
岩泉町	岩泉	中野	42(34)			42(34)	入居 38 戸、退去 4 戸
		志田	23(18)			23(18)	
		中家	16(12)			16(12)	
	小川	滝の上	26(23)			26(23)	入居 24 戸、退去 1 戸
		稲荷	20(20)			20(20)	
	安家	日蔭	9(7)			9(7)	入居 9 戸、退去 2 戸
		日蔭第 2	25(25)			25(25)	
	小本	下中里	10(10)			10(10)	
		小本		32(23)		32(23)	入居 32 戸、退去 9 戸
		小成		20(6)		20(6)	入居 11 戸、退去 5 戸
	みなし仮設				5(5)	5(5)	入居 9 戸、退去 4 戸
小計		171(149)	52(29)	5(5)	228(183)		
宮古市				10(4)		10(4)	
久慈市				6(6)	19(19)	25(25)	みなし入居 20 戸、退去 1 戸
野田村					1(1)	1(1)	
普代村					1(1)	1(1)	
合 計			171(149)	68(39)	26(26)	265(214)	

※1（ ）内は、入居戸数。

※2 みなし仮設は31戸に供与し、その後5戸が退去したことにより現在は26戸となっている。

※3 本年5月25日から、宮古市において、応急仮設住宅の供与を必要とする世帯に対し、既存仮設10戸を新たに台風第10号災害による応急仮設住宅として提供した。

（当該世帯は、被災直後から東日本大震災津波に係る応急仮設住宅に目的外使用で入居）

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
3 ボランティアの確保	<p>○ 宮古市、久慈市、岩泉町の各社会福祉協議会では、災害ボランティアセンターを設置・運営した。また、他の市町村社協においても災害ボランティアの受入れを実施した（県内での延べ活動人数 24,307 人： 7/31 現在）。</p> <p>○ 宮古市は昨年 10 月 10 日、久慈市は 10 月 31 日、岩泉町は本年 3 月 31 日をもって災害ボランティアセンターを閉鎖した（以後は市町村社会福祉協議会のボランティアセンターで対応。岩泉町社協では 4 月から毎週土日のボランティアを募集中）。</p>	<p>○ 引き続き、県社協及び市町村社協と情報共有しながら、必要な支援を行っていく。</p>
4 こころと体の健康の継続的な支援	<p>○ 被災市町に対し保健師及び栄養士を派遣し、戸別訪問による被災地区住民の健康調査等の保健活動及び栄養・食生活支援を実施した（本年 2 月まで）。</p> <p>○ 岩泉町では、8 月から 9 月まで、戸別訪問による在宅被災者健康調査等保健活動を実施。県は、岩泉町からの要請を受け、県保健師を派遣した（8 月 1 日（火）から 9 月 22 日（金）までの延べ 18 日間、保健師等延べ 42 人を派遣）。</p> <p>○ 岩泉町では、町の保健師が宮古保健福祉環境センター及び岩泉町社会福祉協議会の協力を得ながら、被災者への訪問による健康調査及び保健指導と併せて、こころのケアを行っている。町の保健師等において対応が困難なケースについては、必要に応じて精神保健福祉センターが技術的助言等を行っている。</p>	<p>○ 被災市町から要請があった場合には、市町が実施する健康調査や栄養指導等の保健活動等を支援するため、県保健師及び管理栄養士を派遣する。</p> <p>○ 岩泉町による被災者等のこころのケアを支援していく。</p>
5 仮設住宅等の見守り支援等	<p>○ 岩泉町における被災者の見守り・相談支援の実施に向け、昨年 12 月 12 日に県、岩泉町及び社協等の関係機関による調整会議を開催した。</p> <p>○ 岩泉町において、宮古保健福祉環境センターや町社協の協力を得ながら、町保健師等による被災者の巡回・見守りを実施してきたほか、2 月 1 日からは生活支援相談員 6 名を町及び町内関係団体に配置しており、社会福祉協議会や N P O など支援関係者による「岩泉町被災者支援連携会議」を開催するなど、各関係機関が連携して、仮設住宅等への訪問やサロン活動などによる見守り・相談支援を実施している。</p> <p>【関連情報】 岩泉町、町社協、N P O 法人などが連携し、岩泉町保健センターに生活再建全般に係る相談窓口を開設している（窓口開設と並行して訪問相談や支所巡回を実施）。</p>	<p>○ 岩泉町や社協等の関係機関と連携し、被災者の見守り・相談支援の取組を支援していく。</p>
6 医療機関及び社会福祉施設等の早期復旧	<p>○ 被災施設 94 施設のうち、事業を廃止した 2 事業所を除く 92 施設が再開</p> <p>・ 安家診療所は、4 月 28 日に復旧工事が完了し、7 月 4 日から診療を開始した。</p>	

課題	現在の対応状況	今後の対応方向
7 社会福祉施設等の安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年9月に、市町村及び社会福祉施設等に対し、施設の非常災害対策及び入所者等の安全確保に努めるよう注意喚起する通知を発出した。 ○ 昨年11月から本年1月まで、社会福祉施設等3,360施設を対象に、施設がハザードマップの洪水浸水地域・土砂災害警戒区域に立地していないか、非常災害対策計画に水害・土砂災害対策に関し必要な項目が記載されているか、避難訓練を実施しているかなどに関する調査を実施した。 ○ 昨年11月から本年1月まで、指導権限を有する県又は市町村が、1,611の施設等に対し指導・助言を実施した。 ○ 昨年11月から本年1月まで、岩手県防災会議幹事会議 社会福祉施設等防災分科会を開催し、防災対策の推進に係る課題・対応方向をとりまとめた。 ○ 2月及び3月に、総務部、保健福祉部及び県土整備部が連携し、要配慮者利用施設において水害及び土砂災害に対して適切な避難行動がとられるよう、県内の施設管理者を対象とした説明会を、国との共催により開催した（9地区9回）。 ○ 夏季に入り風水害等の発生リスクの高まる時期を迎えることから、5月12日に、市町村に対し、改めて、水害・土砂災害のリスクが高い区域に立地している施設等における、非常災害対策計画の策定や避難訓練の実施状況の把握、防災体制の改善指導等の徹底を依頼した。 ○ 県が実施する本年度の社会福祉施設に対する指導監査の重点事項に防災対策を明記した。また、指導監査の主眼事項及び着眼点に水害・土砂災害に関する確認事項を明記した。 ○ 8月に、施設等の特徴に応じた非常災害対策計画の策定や避難訓練の実施等の充実を図ることを目的に、県内における取組事例を収集して事例集を作成し、市町村等に配布した。 ○ 内閣府主催の避難確保計画策定に係るモデル事業の実施施設に本県施設が選定されたことから、7月より、総務部、県土整備部とともにワークショップ等に参加し、モデル事例となる避難確保計画等を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き、施設等に対し、指導権限を有する県又は市町村が指導・助言を行い改善を図っていく。 また、岩手県防災会議幹事会議、社会福祉施設等防災分科会での検討結果を踏まえ、施設利用者の安全確保に取り組んでいく。
8 義援金について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本赤十字社岩手県支部及び岩手県共同募金会と調整し、昨年9月5日から本年3月末まで義援金の募集を行った。 ○ 昨年10月末までに寄せられた義援金215,710千円を、昨年12月16日に、13市町村に対し配分した。 ○ 昨年10月末以降本年3月末までに寄せられた義援金237,388千円を本年6月28日に13市町村に対し配分した（昨年12月分と合わせた配分額は453,098千円）。 	